エ. 中央分離帯のある道路で継ぎ目に付着しているもの

Γ.	金属片番号	201	事務所名	小樽	路線番号	R230

#### ①付着状況

防護柵	■●ガードレール
の種類	□○ガードパイプ
	□○ガードケーブル
防護柵	□○路側側
の位置	■●中央帯側
付着場所	□○ボルト部
	□○始点側端部ボルト部
	□○終点側端部ボルト部
	■●継ぎ目部
	□○始点側端部継ぎ目部
	□○終点側端部継ぎ目部
付着向き	□○順方向  □○
	■●逆方向
継ぎ目部	■●順目  □○
	□○逆目
接触痕跡	□○あり □●不明
	■○なし

#### ②写真

<u> </u>		
材質	■●鉄	□○プラスチック
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	0.869	



●国総研による再確認結果

■:整備局の判断 ●:国総研の判断

#### ③金属片の特徴

■整備局からの報告
(7)金属片の差し込み側が人工的に
加工されているように見える
(イ)破断面が人工的に作られたよう
に滑らか
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と
一致しない
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目
に付着している
(オ)その他、現場から特にコメント
がある

ナテナナしながしたまがしてもつ	
車両由来と類似した特徴である	

#### ④一次判定

`	<i>-</i>	
	車両に由来するものと考えられるか	●YES ○不確定(材料分析必要)
		理由:金属片の形状・厚さから車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO	
材料分析結果			

金属片番号	210	事務所名	青森	路線番号	R45

### ①付着状況

防護柵 の種類	■ ● ガ − ド レ−ル □ ○ ガ − ド パ イプ □ ○ ガ − ド ケ−ブル
防護柵 の位置	■●路側側 □○中央帯側 □○
付着場所	□○ボルト部 □○始点側端部ボルト部 □○終点側端部ボルト部 ■●継ぎ目部 □○始点側端部継ぎ目部 □○始点側端部継ぎ目部
付着向き	□○順方向 □○ ■●逆方向
継ぎ目部	■●順目 □○□○逆目
接触痕跡	<b>■</b> ●あり □○ □○なし

#### ②写真

O		
材質	■●鉄	□ ○ プ ラスチック
形状	□○三角	■●長方形
厚さ(mm)	1.21	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

#### ③金属片の特徴

■整備局からの報告
(ア)金属片の差し込み側が人工的に
加工されているように見える
(イ)破断面が人工的に作られたよう
に滑らか
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と
一致しない
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目
に付着している
(オ)その他、現場から特にコメント
がある

●国総研による再確認結果
車両由来と類似した特徴である

# ④一次判定

車両に由来するものと考えられるか	●YES	〇不確定(材料分析必要)
	理由:接触痕	及び金属片の厚さから車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO	
材料分析結果			

- 1						
	金属片番号	212	事務所名	岩手	路線番号	R4

### ①付着状況

<u></u>			
防護柵	■●ガードレール		
の種類	□○ガードパイプ		
	□○ガードケーブル		
	О		
防護柵	■●路側側		
の位置	□○中央帯側		
付着場所	口〇ボルト部		
	□○始点側端部ボルト部		
	□○終点側端部ボルト部		
	■●継ぎ目部		
	□○始点側端部継ぎ目部		
	□○終点側端部継ぎ目部		
	ПО		
付着向き	■●順方向 □○		
	□○逆方向		
継ぎ目部			
	■●逆目		
接触痕跡	■●あり □○		
	□○なし		

#### ②写真

<b>9</b>		
材質	■●鉄	□ ○プ ラスチック
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	1.0	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

#### ③金属片の特徴

	■整備局からの報 <del>告</del>		
	(ア)金属片の差し込み側が人工的に		
	加工されているように見える		
	(イ)破断面が人工的に作られたよう		
	に滑らか		
	(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と		
	一致しない		
	(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目		
	に付着している		
	(オ)その他、現場から特にコメント		
	がある		
	·		

継ぎ目部が逆目になっている	

●国総研による再確認結果

## ④一次判定

_		
	車両に由来するものと考えられるか	●YES ○不確定(材料分析必要)
		理由:接触痕及び金属片の形状・厚さから車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO	
材料分析結果			

金属片番号	213	事務所名	岩手	路線番号	R4

### ①付着状況

防護柵	<b>■ ●</b> ガ −ド レール		
の種類	□○ガードパイプ		
	□○ガードケーブル		
	ПО		
防護柵	■●路側側		
の位置	□○中央帯側		
	ПО		
付着場所	□○ボルト部		
	□○始点側端部ボルト部		
	□○終点側端部ボルト部		
	■●継ぎ目部		
	□○始点側端部継ぎ目部		
	□○終点側端部継ぎ目部		
	ПО		
付着向き	■●順方向 □○		
	□○逆方向		
継ぎ目部			
	■●逆目		
接触痕跡	■○あり □●不明		
	□○なし		

#### ②写真

材質	■●鉄	□○プラスチック
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	1.0	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

#### ③金属片の特徴

■整備局からの報告			
(ア)金属片の差し込み側が人工的に			
加工されているように見える			
(イ)破断面が人工的に作られたよう			
に滑らか			
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と			
一致しない			
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目			
に付着している			
(オ)その他、現場から特にコメント			
がある			

●国総研による再確認結果
継ぎ目部が逆目になっている

### ④一次判定

車両に由来するものと考えられるか	●YES ○不確定(材料分析必要)
	理由:金属片の形状・厚さから車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO	
材料分析結果			

金属片番号	214	事務所名	岩手	路線番号	R4

### ①付着状況

<u></u>			
防護柵	■●ガードレール		
の種類	□○ガードパイプ		
	□○ガードケーブル		
防護柵	■●路側側		
の位置	□○中央帯側		
付着場所	□○ボルト部		
	□○始点側端部ボルト部		
	□○終点側端部ボルト部		
	■●継ぎ目部		
	□○始点側端部継ぎ目部		
	□○終点側端部継ぎ目部		
	□Ο		
付着向き	■●順方向 □○		
	□○逆方向		
継ぎ目部	□○順目  □○		
	■●逆目		
接触痕跡	■●あり □○		
	□○なし		

#### ②写真

<b>0</b>		
材質	■●鉄	□○プラスチック
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	0.8	



#### ■:整備局の判断 ●:国総研の判断

### ③金属片の特徴

■整備局からの報告				
(ア)金属片の差し込み側が人工的に				
加工されているように見える				
(イ)破断面が人工的に作られたよう				
に滑らか				
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と				
一致しない				
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目				
に付着している				
(オ)その他、現場から特にコメント				
がある				

●国総研による再確認結果
継ぎ目部が逆目になっている

### ④一次判定

_		
	車両に由来するものと考えられるか	●YES ○不確定(材料分析必要)
		理由:接触痕及び金属片の形状・厚さから車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO	
材料分析結果			

金属片番号	215	事務所名	岩手	路線番号	R4

### ①付着状況

防護柵	■●ガードレール
の種類	□○ガードパイプ
	□○ガードケーブル
	□Ο
防護柵	■●路側側
の位置	□○中央帯側
	ПО
付着場所	□○ボルト部
	□○始点側端部ボルト部
	□○終点側端部ボルト部
	■●継ぎ目部
	□○始点側端部継ぎ目部
	□○終点側端部継ぎ目部
付着向き	■●順方向 □○
	□○逆方向
継ぎ目部	
	■●逆目
接触痕跡	■●あり □○
	□○なし

#### ②写真

<b>0</b>		
材質	■●鉄	□○プラスチック
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	0.8	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

□ (7)金属片の差し込み側が人工的 加工されているように見える □ (4)破断面が人工的に作られたよ に滑らか	う
□ (イ)破断面が人工的に作られたよ に滑らか	
に滑らか	
1 111 2 11	
│□│(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板	ح
一致しない	
■ (エ)中央分離帯のある道路で継ぎ	目
に付着している	
│□ │(オ)その他、現場から特にコメン	7
がある	

●国総研による再確認結果
継ぎ目部が逆目になっている

### ④一次判定

_	× · · · · · ·	
	車両に由来するものと考えられるか	●YES    ○不確定(材料分析必要)
		理由:接触痕及び金属片の形状・厚さから車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO	
材料分析結果			

					T Comments of the comments of
金属片番号	217	事務所名	仙台	路線番号	R4

### ①付着状況

防護柵	■●ガードレール
の種類	□○ガードパイプ
	□○ガードケーブル
	□○
防護柵	■●路側側
の位置	□○中央帯側
	ПО
付着場所	口〇ボルト部
	□○始点側端部ボルト部
	□○終点側端部ボルト部
	■●継ぎ目部
	□○始点側端部継ぎ目部
	□○終点側端部継ぎ目部
	ПО
付着向き	■●順方向 □○
	口〇逆方向
継ぎ目部	
	■●逆目
接触痕跡	■●あり □○
	□○なし

#### ②写真

<b>0</b>		
材質	■●鉄	□○プラスチック
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	不明	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

■整備局からの報告
(ア)金属片の差し込み側が人工的に
加工されているように見える
(イ)破断面が人工的に作られたよう
に滑らか
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と
一致しない
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目
に付着している
(オ)その他、現場から特にコメント
がある

●国総研による再確認結果
継ぎ目部が逆目になっている

### ④一次判定

車両に由来するものと考えられるか	●YES    ○不確定(材料分析必要)
	理由:接触痕及び金属片の形状から車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO	
材料分析結果			

- 1						
	金属片番号	218	事務所名	仙台	路線番号	R4

### ①付着状況

<u></u>	
防護柵	■●ガードレール
の種類	□○ガードパイプ
	□○ガードケーブル
防護柵	■○路側側
の位置	□●中央帯側
	ПО
付着場所	□○ボルト部
	□○始点側端部ボルト部
	□○終点側端部ボルト部
	■●継ぎ目部
	□○始点側端部継ぎ目部
	□○終点側端部継ぎ目部
	ПО
付着向き	■●順方向 □○
	□○逆方向
継ぎ目部	□○順目  □○
	■●逆目
接触痕跡	■●あり □○
	□Oなし

#### ②写真

材質	■●鉄	□ Oプ ラスチック
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	1.2	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

### ③金属片の特徴

■整備局からの報告
(ア)金属片の差し込み側が人工的に
加工されているように見える
(イ)破断面が人工的に作られたよう
に滑らか
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と
一致しない
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目
に付着している
(オ)その他、現場から特にコメント
がある

●国総研による再確認結果
継ぎ目部が逆目になっている

### ④一次判定

_		
	車両に由来するものと考えられるか	●YES ○不確定(材料分析必要)
		理由:接触痕及び金属片の形状・厚さから車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO	
材料分析結果			

金属片番号	236	事務所名	福島	路線番号	R4

#### ①付着状況

防護柵	■●ガードレール
の種類	□○ガードパイプ
	□○ガードケーブル
	□Ο
防護柵	□○路側側
の位置	■●中央帯側
	ПО
付着場所	□○ボルト部
	□○始点側端部ボルト部
	□○終点側端部ボルト部
	■●継ぎ目部
	□○始点側端部継ぎ目部
	□○終点側端部継ぎ目部
	ПО
付着向き	□●順方向 □○
	■○逆方向
継ぎ目部	
	■●逆目
接触痕跡	■○あり □●不明
	□○なし

#### ②写真

材質	■●鉄□○	□ ○ プ ラスチック
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	1.35	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

#### ③金属片の特徴

■整備局からの報告
(ア)金属片の差し込み側が人工的に
加工されているように見える
(イ)破断面が人工的に作られたよう
に滑らか
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と
一致しない
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目
に付着している
(オ)その他、現場から特にコメント
がある

●国総研による再確認結果
継ぎ目部が逆目になっている

### ④一次判定

車両に由来するものと考えられるか	●YES ○不確定(材料分析必要)
	理由:金属片の形状・厚さから車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO	
材料分析結果			

金属片番号	237	事務所名	郡山	路線番号	R4RP
业海川田つ	201	T 10111 'L	1117 H-1	四水田 つ	IVADI

#### ①付着状況

<u></u>	
防護柵	■●ガードレール
の種類	□○ガードパイプ
	□○ガードケーブル
防護柵	■●路側側
の位置	□○中央帯側
	ПО
付着場所	□○ボルト部
	□○始点側端部ボルト部
	□○終点側端部ボルト部
	■●継ぎ目部
	□○始点側端部継ぎ目部
	□○終点側端部継ぎ目部
	ПО
付着向き	■●順方向 □○
	□○逆方向
継ぎ目部	■●順目  □○
	□○逆目
接触痕跡	□●あり □○
	■○なし

#### ②写真

<b>U</b> • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		
材質	□○鉄	□ ○プ ラスチック
	■●不明	
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	不明	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

### ③金属片の特徴

■整備局からの報告
(ア)金属片の差し込み側が人工的に
加工されているように見える
(イ)破断面が人工的に作られたよう
に滑らか
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と
一致しない
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目
に付着している
(オ)その他、現場から特にコメント
がある

接触痕あり、	金属片の形が車両由来と類似した特

●国総研による再確認結果

#### ④一次判定

_	9 7(1)C	
	車両に由来するものと考えられるか	●YES ○不確定(材料分析必要)
		理由:接触痕及び金属片の形状から車両と推測

徴

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO	
材料分析結果			

金属片番号	238	<b></b>	郡山	路線番号	R4RP
亚偶几倍与	Z38	T 10111 11	411/III	四水田 つ	IV <del>I</del> DI

#### ①付着状況

防護柵 の種類	■ ● ガ − ド レ − ル □ ○ ガ − ド パ イ プ
	□ ○ガ ード ケーブル □ ○
防護柵	■○路側側
の位置	□●中央帯側
	ПО
付着場所	□●ボルト部
	□○始点側端部ボルト部
	□○終点側端部ボルト部
	■〇継ぎ目部
	□○始点側端部継ぎ目部
	□○終点側端部継ぎ目部
付着向き	□○順方向  □○
	■●逆方向
継ぎ目部	■●順目  □○
	□○逆目
接触痕跡	■●あり □○
	□○なし
-	

#### ②写真

_		
材質	□○鉄	□○プラスチック
	■●不明	
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	不明	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

■整備局からの報告		
(ア)金属片の差し込み側が人工的に		
加工されているように見える		
(イ)破断面が人工的に作られたよう		
に滑らか		
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と		
一致しない		
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目		
に付着している		
(オ)その他、現場から特にコメント		
がある		

●国総研による再確認結果

接触痕あり、金属片の形が車両由来と類似した特 徴

#### ④一次判定

`	<i>-</i>	
	車両に由来するものと考えられるか	●YES ○不確定(材料分析必要)
		理由:接触痕及び金属片の形状から車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO	
材料分析結果			

金属片番号	242	事務所名	岩手	路線番号	R4
业内田石	<u> </u>	チャカバカ つ	<b>1</b> □ J		11/4

#### ①付着状況

防護柵	■●ガードレール		
の種類	□○ガードパイプ		
	□○ガードケーブル		
	□Ο		
防護柵	□○路側側		
の位置	■●中央帯側		
	ПО		
付着場所	□○ボルト部		
	□○始点側端部ボルト部		
	□○終点側端部ボルト部		
	■●継ぎ目部		
	□○始点側端部継ぎ目部		
	□○終点側端部継ぎ目部		
	ПО		
付着向き	■●順方向 □○		
	□○逆方向		
継ぎ目部			
	■●逆目		
接触痕跡	■●あり □○		
	□○なし		

#### ②写真

<b>U U U U</b>		
材質	■●鉄	□○プラスチック
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	1.0	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

#### ③金属片の特徴

■整備局からの報 <del>告</del>		
(ア)金属片の差し込み側が人工的に		
加工されているように見える		
(イ)破断面が人工的に作られたよう		
に滑らか		
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と		
一致しない		
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目		
に付着している		
(オ)その他、現場から特にコメント		
がある		

### ④一次判定

_	× · · · · · ·	
	車両に由来するものと考えられるか	●YES    ○不確定(材料分析必要)
		理由:接触痕及び金属片の形状・厚さから車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO	
材料分析結果			

金属片番号	258	<b></b>	宇都宮	路線番号	R 新 4
业内门田勺	200	一事物仍石	ם יום נ	四 小水 田 つ	Tr 4/1 ±

#### ①付着状況

防護柵 の種類	■ ● ガ - ド レ - ル □ ○ ガ - ド パ イ プ □ ○ ガ - ド ケ- ブ ル □ ○
防護柵 の位置	■●路側側 □○中央帯側 □○
付着場所	□○ボルト部 □○始点側端部ボルト部 □○終点側端部ボルト部 ■●継ぎ目部 □○始点側端部継ぎ目部 □○始点側端部継ぎ目部
付着向き	■〇順方向 □〇 □●逆方向
継ぎ目部	■●順目 □○ □○逆目
接触痕跡	□●あり  □○ ■○なし

#### ②写真

材質	■●鉄	□ ○ プ ラスチック
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	0.817	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

#### ③金属片の特徴

■整備局からの報告
(ア)金属片の差し込み側が人工的に
加工されているように見える
(イ)破断面が人工的に作られたよう
に滑らか
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と
一致しない
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目
に付着している
(オ)その他、現場から特にコメント
がある

# ●国総研による再確認結果

暫定二車供用の実績あり 車両由来と類似した特徴である

#### ④一次判定

3(1)A	
車両に由来するものと考えられるか	●YES ○不確定(材料分析必要)
	理由:接触痕及び金属片の形状・厚さから車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

金属片番号	259	<b></b>	宇都宮	路線番号	R 新 4
业内门田勺	400	一事物仍石	ם יום נ	四 小水 田 つ	ᅚᄭ

### ①付着状況

<u></u>	
防護柵	■●ガードレール
の種類	□○ガードパイプ
	□○ガードケーブル
	ПО
防護柵	■●路側側
の位置	□○中央帯側
	□Ο
付着場所	□○ボルト部
	□○始点側端部ボルト部
	□○終点側端部ボルト部
	■●継ぎ目部
	□○始点側端部継ぎ目部
	□○終点側端部継ぎ目部
	ПО
付着向き	□○順方向□●一車線対向
	■○逆方向
継ぎ目部	■○順目 □●一車線対向
	□○逆目
接触痕跡	□●あり □○
	■○なし

#### ②写真

<b>U U V U</b>		
材質	■●鉄	□ ○プ ラスチック
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	0.768	



●国総研による再確認結果

■:整備局の判断 ●:国総研の判断

#### ③金属片の特徴

■整備局からの報告
(ア)金属片の差し込み側が人工的に
加工されているように見える
(イ)破断面が人工的に作られたよう
に滑らか
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と
一致しない
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目
に付着している
│ │(オ)その他、現場から特にコメント
がある

中央分離帯なし(一車線対向)

#### ④一次判定

. VIIIAC	
車両に由来するものと考えられるか ●YES	〇不確定(材料分析必要)
理由:接触	・塩痕及び金属片の形状・厚さから車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

金属片番号 263 事務所名	相武	路線番号	R16
----------------	----	------	-----

#### ①付着状況

防護柵	□○ガードレール
の種類	ロのガードパイプ
	□○ガードケーブル
	■●歩行者自転車用柵
防護柵	■●路側側
の位置	□○中央帯側
	ПО
付着場所	口〇ボルト部
	□○始点側端部ボルト部
	□○終点側端部ボルト部
	口〇継ぎ目部
	■○始点側端部継ぎ目部
	□○終点側端部継ぎ目部
	□●横ビームの始点
付着向き	■○順方向 □●不明
	口〇逆方向
継ぎ目部	□○順目■●横ビームの始点
	口〇逆目
接触痕跡	■●あり □○
	□○なし

#### ②写真

材質	■○鉄 □●不明	□○プラスチック
形状	□○三角	□○長方形
厚さ(mm)	不明	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

#### ③金属片の特徴

■整備局からの報告
(ア)金属片の差し込み側が人工的に
加工されているように見える
(イ)破断面が人工的に作られたよう
に滑らか
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と
一致しない
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目
に付着している
(オ)その他、現場から特にコメント
がある

### ●国総研による再確認結果

接触痕あり、車両出入部の歩行者自転車用柵であ り付着の可能性がある

#### 4)一次判定

_	<i>y</i>		
	車両に由来するものと考えられるか	●YES O不確定(材料分析必要)	
		理由:接触痕及び付着場所を確認した結果、車両と	推
		測	

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO	
材料分析結果			

金属片番号	264	事務所名	<b>千</b> 莲	路線番号	R16
业内门田勺	<b>2</b> 0 <b>−</b>	ナッカッカ・ロ	1 🔨	<b>かけ 小小 田 ・ )</b>	1010

#### ①付着状況

防護柵 の種類	■ ● ガ − ド レ−ル □ ○ ガ − ド パ イプ □ ○ ガ − ド ケ−ブ ル □ ○
防護柵 の位置	■●路側側 □○中央帯側 □○
付着場所	□○ボルト部 □○始点側端部ボルト部 □○終点側端部ボルト部 ■●継ぎ目部 □○始点側端部継ぎ目部 □○終点側端部継ぎ目部
付着向き	■●順方向 □○ □○逆方向
継ぎ目部	■●順目 □○□○逆目
接触痕跡	<b>■</b> ●あり □○ □○なし

#### ②写真

材質	■●鉄	□ ○ プ ラスチック
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	1.100	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

#### ③金属片の特徴

■整備局からの報告
(ア)金属片の差し込み側が人工的に
加工されているように見える
(イ)破断面が人工的に作られたよう
に滑らか
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と
一致しない
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目
に付着している
<u>−</u> (オ)その他、現場から特にコメント
がある

●国総研による再確認結果

接触痕あり、金属片が車両由来と類似した特徴

#### 4)一次判定

_	9 9/11 <b>2</b>	
	車両に由来するものと考えられるか	●YES ○不確定(材料分析必要)
		理由:接触痕及び金属片の形状・厚さから車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

│金属片番号
--------

#### ①付着状況

防護柵の種類	■●ガードレール
の種類	
	ロのガードケーブル
防護柵	■●路側側
の位置	□○中央帯側
付着場所	口〇ボルト部
	□○始点側端部ボルト部
	□○終点側端部ボルト部
	■●継ぎ目部
	□○始点側端部継ぎ目部
	□○終点側端部継ぎ目部
付着向き	■●順方向 □○
	□○逆方向
継ぎ目部	■●順目  □○
	□○逆目
接触痕跡	■●あり □○
	□○なし
•	

#### ②写真

U		
材質	□○鉄	□○プラスチック
	■OFRP	□●不明
形状	□○三角	□○長方形
	■●その他	
厚さ(mm)	2.033	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

#### ③金属片の特徴

■整備局からの報告		
(ア)金属片の差し込み側が人工的に		
加工されているように見える		
(イ)破断面が人工的に作られたよう		
に滑らか		
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と		
一致しない		
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目		
に付着している		
(オ)その他、現場から特にコメント		
がある		

●国総研による再確認結果

金属片の厚さが少し厚い

#### ④一次判定

y whe				
OYES ●不確定(材料分析必要)				
理由:金属片の厚さが少し厚い				

接触痕あり

車両に由来するものと考えられるか	●YES ONO
材料分析結果	車両用(外板)、引張破壊

金属片番号     269     事務所名     千葉     路線番号     R127	
---	--

#### ①付着状況

防護柵	■●ガードレール
の種類	□○ガードパイプ
	□○ガードケーブル
	□Ο
防護柵	□○路側側
の位置	■●中央帯側
	□Ο
付着場所	□○ボルト部
	□○始点側端部ボルト部
	□○終点側端部ボルト部
	■●継ぎ目部
	□○始点側端部継ぎ目部
	□○終点側端部継ぎ目部
	ПО
付着向き	■●順方向 □○
	□○逆方向
継ぎ目部	
	■●逆目
接触痕跡	■●あり □○
	□○なし

#### ②写真

<b>0</b>		
材質	■●鉄	□○プラスチック
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	1.0	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

#### ③金属片の特徴

■整備局からの報告				
(ア)金属片の差し込み側が人工的に				
加工されているように見える				
(イ)破断面が人工的に作られたよう				
に滑らか				
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と				
一致しない				
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目				
に付着している				
(オ)その他、現場から特にコメント				
がある				

継ぎ目部が逆目になっている	

●国総研による再確認結果

#### ④一次判定

. VIIIAC	
車両に由来するものと考えられるか ●YES	〇不確定(材料分析必要)
理由:接触	・塩痕及び金属片の形状・厚さから車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

金属片番号 271 事務所名	千葉	路線番号	R357
----------------	----	------	------

#### ①付着状況

防護柵	■●ガードレール		
の種類	□○ガードパイプ		
	□○ガードケーブル		
防護柵	□○路側側		
の位置	■●中央帯側		
付着場所	口〇ボルト部		
	□○始点側端部ボルト部		
	□○終点側端部ボルト部		
	■●継ぎ目部		
	□○始点側端部継ぎ目部		
	□○終点側端部継ぎ目部		
	ПО		
付着向き	■○順方向 □●不明		
	□○逆方向		
継ぎ目部	□●順目  □○		
	■○逆目		
接触痕跡	■●あり □○		
	□○なし		
	·		

#### ②写真

材質	■●鉄□○	□ ○プ ラスチック
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	0.654	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

#### ③金属片の特徴

■整備局からの報告				
(ア)金属片の差し込み側が人工的に				
加工されているように見える				
(イ)破断面が人工的に作られたよう				
に滑らか				
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と				
一致しない				
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目				
に付着している				
 /D = 0 / TD   TD   D   D   D   D   D   D   D   D				
(オ)その他、現場から特にコメント				
がある				

接触痕あり、	矢印板への付着、	金属片が車両由来

●国総研による再確認結果

#### 4)一次判定

_	9 9/11 <b>2</b>	
	車両に由来するものと考えられるか	●YES ○不確定(材料分析必要)
		理由:接触痕及び金属片の形状・厚さから車両と推測

と類似した特徴

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

金属片番号	277	事務所名	甲府	路線番号	R20

#### ①付着状況

防護柵 の種類	■ ● ガ − ド レ−ル □ ○ ガ − ド パ イプ □ ○ ガ − ド ケ−ブル
防護柵 の位置	■●路側側 □○中央帯側 □○
付着場所	□○ボルト部 □○始点側端部ボルト部 □○終点側端部ボルト部 ■●継ぎ目部 □○始点側端部継ぎ目部 □○始点側端部継ぎ目部
付着向き	■○順方向 □○ □●逆方向
継ぎ目部	■●順目 □○□○逆目
接触痕跡	<b>■</b> ●あり □○ □○なし

#### ②写真

U		
材質	□○鉄	□ ○プ ラスチック
	■●不明	
形状	□○三角	□○長方形
	■●不明	
厚さ(mm)	不明	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

#### ③金属片の特徴

■整備局からの報告		
(ア)金属片の差し込み側が人工的に		
加工されているように見える		
(イ)破断面が人工的に作られたよう		
に滑らか		
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と		
一致しない		
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目		
に付着している		
<u>−</u> (オ)その他、現場から特にコメント		
がある		

●国総研による再確認結果

#### ④一次判定

●YES ○不確定(材料分析必要)
理由:中央分離帯がないことから付着の可能性あり

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

	1				
金属片番号	283	事務所名	高田	路線番号	R8

#### ①付着状況

防護柵	□○ガードレール
の種類	■●ガードパイプ
	□○ガードケーブル
	ПО
防護柵	■●路側側
の位置	口〇中央帯側
	ПО
付着場所	口〇ボルト部
	□○始点側端部ボルト部
	□○終点側端部ボルト部
	■●継ぎ目部
	□○始点側端部継ぎ目部
	□○終点側端部継ぎ目部
	ПО
付着向き	■●順方向 □○
	□○逆方向
継ぎ目部	□○順目  ■○不明
	□●逆目
接触痕跡	■○あり □●不明
	□○なし
<u> </u>	1

#### ②写真

U		
材質	■○鉄	□○プラスチック
	□●不明	
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	1.0	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

#### ③金属片の特徴

■整備局からの報告		
(ア)金属片の差し込み側が人工的に		
加工されているように見える		
(イ)破断面が人工的に作られたよう		
に滑らか		
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と		
一致しない		
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目		
に付着している		
<u>−</u> (オ)その他、現場から特にコメント		
がある		

●国総研による再確認結果

ガードパイプなので付着の可能性が十分ある

#### ④一次判定

_	<sup>0</sup> Λτιλ.	
	車両に由来するものと考えられるか	●YES ○不確定(材料分析必要)
		理由:金属片の形状・厚さから車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

金属片番号	284	事務所名	金沢	路線番号	R159
业两几亩与	40 <del>4</del>	T 10111 11	並バ	四 水田 ケ	11100

#### ①付着状況

<u></u>			
防護柵	■●ガードレール		
の種類	□○ガードパイプ		
	□○ガードケーブル		
防護柵	■●路側側		
の位置	□○中央帯側		
付着場所	□○ボルト部		
	□○始点側端部ボルト部		
	□○終点側端部ボルト部		
	■●継ぎ目部		
	□○始点側端部継ぎ目部		
	□○終点側端部継ぎ目部		
付着向き	■●順方向 □○		
	□○逆方向		
継ぎ目部	■●順目  □○		
	□○逆目		
接触痕跡	■●あり □○		
	□○なし		

#### ②写真

材質	■●鉄	□ ○ プ ラスチック
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	0.735	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

#### ③金属片の特徴

■整備局からの報告					
(ア)金属片の差し込み側が人工的に					
加工されているように見える					
(イ)破断面が人工的に作られたよう					
に滑らか					
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と					
一致しない					
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目					
に付着している					
(オ)その他、現場から特にコメント					
がある					

●国総研による再確認結果

接触痕あり、金属片の形が車両由来と類似した特 徴

#### ④一次判定

3(1)A	
車両に由来するものと考えられるか	●YES ○不確定(材料分析必要)
	理由:接触痕及び金属片の形状・厚さから車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

<b>人艮</b> 山亚口	200	古沙記力	全湿	吸纳采旦	D150
金属片番号	286	事務所名	金沢	路級番号	R159

#### ①付着状況

防護柵	■●ガードレール		
の種類	□○ガードパイプ		
	□○ガードケーブル		
	□Ο		
防護柵	■●路側側		
の位置	口〇中央帯側		
	О		
付着場所	□○ボルト部		
	□○始点側端部ボルト部		
	□○終点側端部ボルト部		
	■●継ぎ目部		
	□○始点側端部継ぎ目部		
	□○終点側端部継ぎ目部		
付着向き	■●順方向 □○		
	□○逆方向		
継ぎ目部	■●順目  □○		
	□○逆目		
接触痕跡	■●あり □○		
	□○なし		

#### ②写真

<b>U</b>		
材質	□○鉄	□ ● プ ラスチック
	■○カーボン	
形状	□○三角	■●長方形
厚さ(mm)	1.068	



●国総研による再確認結果

■:整備局の判断 ●:国総研の判断

#### ③金属片の特徴

	■整備局からの報告			
	(ア)金属片の差し込み側が人工的に			
	加工されているように見える			
	(イ)破断面が人工的に作られたよう			
	に滑らか			
	(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と			
	一致しない			
	(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目			
	に付着している			
П	(オ)その他、現場から特にコメント			
	がある			
	₩. W. W. W.			

車両付帯品と思われる

#### ④一次判定

車両に由来するものと考えられるか	●YES	〇不確定(材料分析必要)
	理由:接触痕	あり、片面塗装、車両付帯品と思われる

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO	
材料分析結果			

I	金属片番号	287	<b></b>	全況	路線番号	R159
	业满几亩与	201	T 10111111	並バ	四水田 ケ	11100

#### ①付着状況

防護柵	■●ガードレール
の種類	□○ガードパイプ
	□○ガードケーブル
防護柵	■●路側側
の位置	□○中央帯側
	ПО
付着場所	□○ボルト部
	□○始点側端部ボルト部
	□○終点側端部ボルト部
	■●継ぎ目部
	□○始点側端部継ぎ目部
	□○終点側端部継ぎ目部
	ПО
付着向き	□○順方向 □○
	■●逆方向
継ぎ目部	■●順目  □○
	□○逆目
接触痕跡	■●あり □○
	□○なし
<u> </u>	

#### ②写真

<b>0 5 7 C</b>		
材質	□○鉄	■ ● プ ラスチック
形状	■○三角	□○長方形
	□●不明	
厚さ(mm)	4.692	



●国総研による再確認結果

■:整備局の判断 ●:国総研の判断

#### ③金属片の特徴

■整備局からの報告
(ア)金属片の差し込み側が人工的に
加工されているように見える
(イ)破断面が人工的に作られたよう
に滑らか
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と
一致しない
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目
に付着している
(オ)その他、現場から特にコメント
がある

車両付帯品と思われる	

接触痕あり

#### 4)一次判定

9 X 11 C		
車両に由来するものと考えられるか	●YES	〇不確定(材料分析必要)
	理由:車両付	<b>帯品と思われる</b>

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO	
材料分析結果			

金属片番号   28	89   事務所名	金沢	路線番号	R8

#### ①付着状況

U I J II I I I I I	
防護柵	■●ガードレール
の種類	□○ガードパイプ
	□○ガードケーブル
	□Ο
防護柵	■○路側側
の位置	□●中央帯側
	□Ο
付着場所	□○ボルト部
	□○始点側端部ボルト部
	□○終点側端部ボルト部
	■〇継ぎ目部
	□○始点側端部継ぎ目部
	□●終点側端部継ぎ目部
付着向き	□●順方向 □○
	■○逆方向
継ぎ目部	
	■●逆目
接触痕跡	■●あり □○
	□○なし

#### ②写真

<u> </u>		
材質	■●鉄	□ ○プ ラスチック
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	1.047	



#### ■:整備局の判断 ●:国総研の判断

#### ③金属片の特徴

■整備局からの報告	
(ア)金属片の差し込み側が人工的に	
加工されているように見える	
(イ)破断面が人工的に作られたよう	
に滑らか	
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と	
一致しない	
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目	
に付着している	
<u>−</u> (オ)その他、現場から特にコメント	
がある	

●国総研による再確認結果

終点側端部継ぎ目部、金属片の形が車両由来と類 似した特徴

#### 4)一次判定

_	9 9/11 <b>2</b>	
	車両に由来するものと考えられるか	●YES ○不確定(材料分析必要)
		理由:接触痕及び金属片の形状・厚さから車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

│金属片番号 │ 290 │ 事務所名 │ 金減	沢	
--------------------------	---	--

#### ①付着状況

防護柵	■●ガードレール		
の種類	□○ガードパイプ		
	□○ガードケーブル		
防護柵	■●路側側		
の位置	□○中央帯側		
付着場所	口〇ボルト部		
	□○始点側端部ボルト部		
	□○終点側端部ボルト部		
	■●継ぎ目部		
	□○始点側端部継ぎ目部		
	□○終点側端部継ぎ目部		
付着向き	□○順方向 □●不明		
	■○逆方向		
継ぎ目部	■●順目  □○		
	□○逆目		
接触痕跡	■●あり □○		
	□○なし		

#### ②写真

<b>0 5 7 C</b>		
材質	■●鉄	□ ○ プ ラスチック
形状	□○三角	□○長方形
	■●台形	
厚さ(mm)	0.918	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

### ③金属片の特徴

■整備局からの報告		
(ア)金属片の差し込み側が人工的に		
加工されているように見える		
(イ)破断面が人工的に作られたよう		
に滑らか		
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と		
一致しない		
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目		
に付着している		
(オ)その他、現場から特にコメント		
がある		

●国総研による再確認結果	

接触痕あり、金属片の形が車両由来と類似した特 徴

#### ④一次判定

3(1)A	
車両に由来するものと考えられるか	●YES ○不確定(材料分析必要)
	理由:接触痕及び金属片の形状・厚さから車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

		外観から	判断して自動	車に	由来するとは	考えにく	い付着金属	<b></b>
金属片	番号	291	事務所名	金	沢		路線番号	R8
①付着状	:況				②写真			
防護:		<b>■ ●</b> ガードレー	Jl		材質	■●鉄		コロプ° ラスチック
の種		コロガードパ	イフ゜					
	[	コロガードケー	<b>フ゛ル</b>		形状	■●三月	 角    [	□○長方形
	[	<b>JO</b>						
防護	柵I	■●路側側			厚さ(mm)	1.327		
の位	置 [	コロ中央帯側	IJ					
	[	<b>JO</b>					7	
付着場	易所 [	コロボルト部	FB		Marie View			
	[	□○始点側ឆ	端部ボルト部					
	[	□○終点側站	端部ボルト部		Market British			
	ı	■●継ぎ目部	fß.					
	[	□○始点側彎	端部継ぎ目部		<b>《香港》</b> 了广	3	11	
		□○終点側端部継ぎ目部					5 /80	
		]0				1	1/4	
付着向		□○順方向				1/	ALTER	
	I	■●逆方向				0		
継ぎ目	-	■●順目			1	3//		
		□○逆目			Jan San San San San San San San San San S	11/1		Carlo
接触症		■●あり						
	[	コロなし						
③金属片	·の特徴	Ţ				■:整	備局の判断	・ ●:国総研の判断
		■整備局から	の報告			●国総研	肝による再研	<b>在認結果</b>
□ (7	')金属月	↑の差し込∂	り側が人工的!	$\equiv$				
	加工さ	れているよ	うに見える					
□ (1	)破断回	面が人工的!	こ作られたよう	5				
	に滑らか							
ロ(ウ	□ (ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と		_					
	一致しない							
<b>■</b> (I	)中央	R分離帯のある道路で継ぎ目		∃	車両由来と	類似した	:特徴である	)
	に付着	している						
	・)そのも	カー現場から	5特にコメン					
	がある							

## ④一次判定

車両に由来するものと考えられるか	●YES ○不確定(材料分析必要)
	理由:接触痕及び金属片の形状・厚さから車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

金属片番号	293	事務所名	新潟	路線番号	R7

### ①付着状況

<u></u>	
防護柵	■●ガードレール
の種類	□○ガードパイプ
	□○ガードケーブル
	ПО
防護柵	□○路側側
の位置	■●中央帯側
	ПО
付着場所	□○ボルト部
	□○始点側端部ボルト部
	□○終点側端部ボルト部
	■●継ぎ目部
	□○始点側端部継ぎ目部
	□○終点側端部継ぎ目部
	ПО
付着向き	□○順方向 □○
	■●逆方向
継ぎ目部	■●順目  □○
	□○逆目
接触痕跡	■●あり □○
	□○なし

#### ②写真

材質	■●鉄	□ ○ プ ラスチック
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	0.892	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

■整備局からの報告
(ア)金属片の差し込み側が人工的に
加工されているように見える
(イ)破断面が人工的に作られたよう
に滑らか
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と
一致しない
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目
に付着している
(オ)その他、現場から特にコメント
がある

車両由来と類似した特徴である

●国総研による再確認結果

### ④一次判定

_	× · · · · · ·	
車両に由来するものと考えられるか		●YES    ○不確定(材料分析必要)
		理由:接触痕及び金属片の形状・厚さから車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO	
材料分析結果			

<b>人民</b> L 巫 D	20.	古沙正力	タナロ	吸纳采旦	D10
金禹斤番号	295	事務所名	名古厔	路級番号	R19

#### ①付着状況

防護柵	■●ガードレール
の種類	□○ガードパイプ
	□○ガードケーブル
	ПО
防護柵	■●路側側
の位置	□○中央帯側
付着場所	□●ボルト部
	□○始点側端部ボルト部
	□○終点側端部ボルト部
	■〇継ぎ目部
	□○始点側端部継ぎ目部
	□○終点側端部継ぎ目部
	ПО
付着向き	■●順方向 □○
	□○逆方向
継ぎ目部	■●順目  □○
	□○逆目
接触痕跡	□●あり □○
	■○なし

#### ②写真

<b>U</b> • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		
材質	■○鉄	□ ○プ ラスチック
	□●不明	
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	2.000	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

#### ③金属片の特徴

■整備局からの報告				
(ア)金属片の差し込み側が人工的に				
加工されているように見える				
(イ)破断面が人工的に作られたよう				
に滑らか				
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と				
一致しない				
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目				
に付着している				
(オ)その他、現場から特にコメント				
がある				

●国総研による再確認結果

ボルト部、金属片が車両由来と類似した特徴

#### ④一次判定

車両に由来するものと考えられるか	●YES    ○不確定(材料分析必要)
	理由:接触痕及び金属片の形状から車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO	
材料分析結果			

金属片番号	296	事務所名	名古屋	路線番号	R19

#### ①付着状況

<u> </u>			
防護柵	■●ガードレール		
の種類	□○ガードパイプ		
	□○ガードケーブル		
	О		
防護柵	■●路側側		
の位置	□○中央帯側		
付着場所	□○ボルト部		
	□○始点側端部ボルト部		
	□○終点側端部ボルト部		
	■●継ぎ目部		
	□○始点側端部継ぎ目部		
	□○終点側端部継ぎ目部		
付着向き	■●順方向 □○		
	□○逆方向		
継ぎ目部	■●順目  □○		
	□○逆目		
接触痕跡	□●あり □○		
	■○なし		

#### ②写真

<b>0</b>		
材質	■●鉄	□○プラスチック
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	1.144	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

#### ③金属片の特徴

■整備局からの報 <del>告</del>				
(ア)金属片の差し込み側が人工的に				
加工されているように見える				
(イ)破断面が人工的に作られたよう				
に滑らか				
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と				
一致しない				
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目				
に付着している				
(オ)その他、現場から特にコメント				
がある				

●国総研による再確認結果

接触痕あり、金属片が車両由来と類似した特徴

## ④一次判定

_	× · · · · · ·	
	車両に由来するものと考えられるか	●YES    ○不確定(材料分析必要)
		理由:接触痕及び金属片の形状・厚さから車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO	
材料分析結果			

金属片番号	297	事務所名	名古屋	路線番号	R41

#### ①付着状況

防護柵	■●ガードレール
の種類	□○ガードパイプ
	□○ガードケーブル
	□Ο
防護柵	■●路側側
の位置	□○中央帯側
	ПО
付着場所	□○ボルト部
	□○始点側端部ボルト部
	□○終点側端部ボルト部
	■●継ぎ目部
	□○始点側端部継ぎ目部
	□○終点側端部継ぎ目部
	ПО
付着向き	□○順方向 □○
	■●逆方向
継ぎ目部	■●順目  □○
	□○逆目
接触痕跡	□●あり □○
	■○なし

#### ②写真

材質	■●鉄	□○プ ラスチック
形状	□●三角	■○長方形
厚さ(mm)	0.900	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

### ③金属片の特徴

■整備局からの報告
(ア)金属片の差し込み側が人工的に
加工されているように見える
(イ)破断面が人工的に作られたよう
に滑らか
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と
一致しない
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目
に付着している
(オ)その他、現場から特にコメント
がある

特異な形状をしている	

●国総研による再確認結果

### ④一次判定

車両に由来するものと考えられるか	OYES ●不確定(材料分析必要)
	理由:特異な形状をしている

車両に由来するものと考えられるか	●YES ONO
材料分析結果	車両用(外板)、引張破壊

金属片番号	301	事務所名	名古屋	路線番号	R22
业内八田勺	001	T 101111 11			1022

#### ①付着状況

防護柵	■●ガードレール
の種類	□○ガードパイプ
	□○ガードケーブル
防護柵	■●路側側
の位置	□○中央帯側
	ПО
付着場所	□○ボルト部
	□○始点側端部ボルト部
	□○終点側端部ボルト部
	■●継ぎ目部
	□○始点側端部継ぎ目部
	□○終点側端部継ぎ目部
付着向き	■○順方向 □●不明
	□○逆方向
継ぎ目部	■●順目  □○
	□○逆目
接触痕跡	■●あり □○
	□○なし

#### ②写真

<b>0 5 7 C</b>		
材質	■●鉄	□ ○プ ラスチック
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	1.300	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

#### ③金属片の特徴

■整備局からの報告
(ア)金属片の差し込み側が人工的に
加工されているように見える
(イ)破断面が人工的に作られたよう
に滑らか
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と
一致しない
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目
に付着している
(オ)その他、現場から特にコメント
がある

接触痕あり、金属片が車両由来と類似した特徴

●国総研による再確認結果

#### ④一次判定

_	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				
	車両に由来するものと考えられるか	●YES ○不確定(材料分析必要)			
		理由:接触痕及び金属片の形状・厚さから車両と推測			

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

金属片番号	303	事務所名	静岡	<u></u>	路約	录番号 R1	
①付着状況				②写盲	1		
防護柵	■●ガードレール	,		②写真 材質	■○鉄	 □ ○プラスチック	
の種類				77. 尺	□●不明	LO7 7x177	
12700	ロロがードケーフ			形状	■●三角	□○長方形	
					□○不明		
防護柵	□○路側側			厚さ(mm)	不明		
の位置	■●中央帯側						
				1			
付着場所	口〇ボルト部				-	111	Mar.
	□○始点側端			1			
	□○終点側端	-			100	0/	. 1
	■●継ぎ目部			- 40	100		#
	□○始点側端 □○終点側端						BO AND
	□○終点側端	(마 디 O 스타니마		1	100	100	
付着向き	■○順方向	ПО	$\dashv$				
11/8/57	□●逆方向	10		100	200		
継ぎ目部	□●順目	ПО		- 46	3		
	■○逆目	_ •		4000			ARE
接触痕跡	■●あり	ПО					
	□○なし						
③金属片の特·	∕ <del>ш</del> -				■:整備局	の判断 ●:国総	研の判断
	<sup>図</sup> ■整備局から	 の報告			●国総研によ	 ころ再確認結果	
□ (7)金属	片の差し込み		_				
	されているよ						
	i面が人工的に		ò				
	らか						
□(ウ)金属	片の厚さが自	動車用鋼板。	<u> </u>				
一致	しない						
	分離帯のある	道路で継ぎ	▋┃	車両由来と	類似した特徴	である	
に付	着している						
□ (オ)その他、現場から特にコメント		+					
があ	る						
4一次判定		- > 1 - 7 '	1.	<b>A</b> TTIC	0 = ++ + ·	11144 11 12 2 1	
申向に由来	車両に由来するものと考えられるか			DYES		「材料分析必要)	28d
		*	生出: 按ଆ狠。	及ひ金属月の	形状から車両と推	測	
⑤二次判定 「まずたままままま」のしまっことまた。			<u> </u>	<b>S</b> WEC	ONO		
	車両に由来するものと考えられるか			OYES	ONO		
材料分析結果							

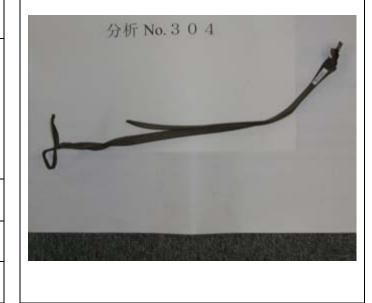
金属片番号	304	事務所名	静岡	路線番号	R246
	001	T 101/11 H	1011-3		10210

#### ①付着状況

防護柵	■○ガードレール	,
の種類	□○ガードパイ	゚゚゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙゙゙
	ロロガードケーフ	゛ル
	□●不明	
防護柵	■○路側側	
の位置	□○中央帯側	
	□●不明	
付着場所	□○ボルト部	, 
	□○始点側端	部ボルト部
	□○終点側端	部ボルト部
	■○継ぎ目部	
	□○始点側端	部継ぎ目部
	□○終点側端	部継ぎ目部
	□●不明	
付着向き	■○順方向	□●不明
	□○逆方向	
継ぎ目部	■○順目	□●不明
	口〇逆目	
接触痕跡	■○あり	□●不明
	□○なし	

#### ②写真

<b>0</b>		
材質	■●鉄	□○プラスチック
形状	□○三角	□○長方形
	■●棒状	
厚さ(mm)	不明/国総研測第	定:1.02(全サビ)



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

#### ③金属片の特徴

■整備局からの報告
(ア)金属片の差し込み側が人工的に
加工されているように見える
(イ)破断面が人工的に作られたよう
に滑らか
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と
一致しない
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目
に付着している
(オ)その他、現場から特にコメント
がある

●国総研による再確認結果
付着位置不明

# ④一次判定

車両に由来するものと考えられるか	OYES ●不確定(材料分析必要)
	理由:付着状況が判断できない。車両由来と類似しな
	l' °

車両に由来するものと考えられるか	●YES ONO
材料分析結果	車両用(ドア下部)、引張破壊

人民山亚口		古みまり	+4 553	吸纳采旦	<b>T</b>
金属片番号	305	事務所名	静岡	路線番号	R246

#### ①付着状況

防護柵	■●ガードレール
の種類	□○ガードパイプ
	□○ガードケーブル
	□Ο
防護柵	□○路側側
の位置	■●中央帯側
	ПО
付着場所	□●ボルト部
	□○始点側端部ボルト部
	□○終点側端部ボルト部
	■〇継ぎ目部
	□○始点側端部継ぎ目部
	□○終点側端部継ぎ目部
	ПО
付着向き	■●順方向 □○
	□○逆方向
継ぎ目部	■●順目  □○
	□○逆目
接触痕跡	■●あり □○
	□○なし

#### ②写真

材質	■●鉄	□ ○プ ラスチック	
形状	□○三角	■○長方形	
	□●複雑		
厚さ(mm)	不明/国総研測定: 0.935		



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

#### ③金属片の特徴

■整備局からの報告				
(ア)金属片の差し込み側が人工的に				
加工されているように見える				
(イ)破断面が人工的に作られたよう				
に滑らか				
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と				
一致しない				
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目				
に付着している				
(オ)その他、現場から特にコメント				
がある				

●国総研による再確認結果		
ボルト部に付着		

#### ④一次判定

_	9 71176						
	車両に由来するものと考えられるか	●YES ○不確定(材料分析必要)					
		理由:接触痕及び厚さから車両と推測					

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO	
材料分析結果			